

令和3年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和3年6月13日（日）午前10時～11時40分

場 所：かさま歴史交流井筒屋

出席者：8名

《予算説明後の意見交換》

- 1 新設された企業誘致・移住推進課の業務内容と市の空家対策について
- 2 外国人観光客の受け入れ体制について
- 3 耕作放棄地の草刈りについて
- 4 石井来栖地区の土地改良について
- 5 石井地区の側溝整備について
- 6 笠間パーキングエリアのスマートインター設置について
- 7 道路の雑草について
- 8 東京オリンピック事前キャンプについて
- 9 地区公民館の今後の建設について
- 10 旧笠間保健センターの活用方法について
- 11 太陽光パネルの建設について
- 12 エネルギー問題と環境問題について

- 1 新設された企業誘致・移住推進課の業務内容と市の空家対策について

【意見等】

市報に企業誘致・移住推進課が新設されたとあったが、どのような業務を行う課なのか。また、空家に関する対策等はどのようなものがあるのか。

【回答】

今年4月に新設した企業誘致・移住推進課では、関連のある企業誘致・移住促進・空家対策を一括して所管している。

空家バンクの物件は、すぐに使えるもの、改修が必要なものとさまざまであるため、市では空家の改修や、家財道具の処分の補助などを行っている。空家を借りたいという方は多いが、物件が少ないことが課題となっている。

今後も空家の利活用を進めていく。

- 2 外国人観光客の受け入れ体制について

【意見等】

笠間市ではインバウンド目的で、台湾交流事務所を開設したと聞いているが、外国人を迎え入れる体制の基盤づくりが十分とは言えないと感じるがいかがか。

【回答】

コロナの影響で、台湾事務所での活動も今はPRが主となっている。コロナ前は台湾の方にはゴルフと食の人気が高かった。現在は、周遊型の観光を勧めており、笠間市だけでなく、県内の他市町村とも連携をとっている。また、ゴルフ以外にも、新たな観光商品を作っていくことが大切。これまでにはない、コアな体験メニュー（例えばロッククライミング体験後、キャンプを楽しむなど）を取り入れることが必要と考えている。

市の受け入れ態勢は、十分とは言えない状況と言えるが、笠間市台湾インバウンド推進協議会を中心に、受入態勢の整備、おもてなし力の向上に取り組んでいる。地域全体で何か統一した取り組みが必要であると考えている。

3 耕作放棄地の草刈りについて

【意見等】

耕作放棄地は地主の方が責任をもって草刈りをする必要がある。このままでは歩道、通学路にまで草が伸びてしまう状況。市からも草刈りを行うよう文書を出してほしい。

【回答】

耕作放棄地の管理は地主の責任で行っていただくことになる。市でも広報紙等で管理を呼びかけている。通学路については、定期的に教育委員会で把握を行っており、現在のところ問題となる例は報告されていない。

4 石井来栖地区の土地改良について

【意見等】

土地改良スケジュールについて、令和6年頃に終わると聞いていたが、見通しはあとのくらいかかるのか。

【回答】

土地改良を進めるためには、地権者がどれだけ賛成するかによる。最終的にどうしても納得してもらえない場合は、その場所を除いて行うことも一つの方法となる。もちろん市では地権者に理解いただけるよう説得はしていくが、あくまでも地権者がやるかやらないかの話となる。現段階ではスケジュールは令和4年度から令和12年度を予定している。

5 石井地区の側溝整備について

【意見等】

平成28年11月に、石井地区に側溝を整備するよう要望を提出した。先般回答があり、令和3年度に着工予定とあるが、具体的な時期は。

【回答】

側溝を新設するだけでなく、道もせまいため、道路の改良をしながら側溝を入れる必要があると考える。区長から新たな要望も出されている。市全体の道路の優先順位を見ながら整備を進めていく。

6 笠間パーキングエリアのスマートインター設置について

【意見等】

数年前の市政懇談会で市長は、市内にインターチェンジは充足しているため、スマートインターチェンジは不要だとの考え方を示していたが、今回、笠間PAにスマートインター設置の計画に至った経緯をうかがいたい。道の駅のためというが、友部ICからの出口があれば十分に感じる。

【回答】

数年前はスマートインターの考えはなかった。しかしその後、国の整備方針が変わり、サービスエリアやパーキングエリアの利便性を高めるため、スマートインター化を進める方向性が示された。道の駅だけでなく、芸術の森公園で開催されるイベントなどに向け、西から来る方の利便性向上につなげるため今回の計画に至った。

7 道路の雑草について

【意見等】

ウォーキングをしていると雑草が茂っているところが多いと感じる。私有地は個人の責任であるが、車道と歩道の境などにも草が多い。具体的には運動公園前あたりの草が伸びてきているが対策は。

【回答】

国道・県道・市道の管理は、それぞれ国・県・市によって行われている。県道や市道は年2回程度除草作業を実施しているが、国道は費用が多額になることなどから、積極的には行われていない。今後の大きな課題であると感じている。

8 東京オリンピック事前キャンプについて

【意見等】

笠間のスケートパークでオリンピックの事前キャンプが行われるが、選手の行動管理や指導はどのように行うのか。

【回答】

選手を含む事前キャンプ関係者は、オリンピック委員会が作成したマニュアルに沿って行動し、外部の方とは一切接触しない。例えば、空港からはトイレ付きのバスで宿泊先に直行し、宿泊先に入ることができる人も限定される。そのため市民の方との接触の機会はないこととなる。

スケートパークでのキャンプ中には、離れたところから見学する機会は設ける予定。

9 地区公民館の今後の建設について

【意見等】

石井地区に地区公民館を作る予定はあるか。

【回答】

石井地区は、地区に公民館を作るのではなく、現在の笠間公民館を利用してもらうこととして笠間公民館が当時建設された。そのため、石井地区に新たに地区公民館を建設する予定はない。気軽に笠間公民館を利用いただきたい。

10 旧笠間保健センターの活用方法について

【意見等】

旧笠間の保健センターの活用方法は。

【回答】

現在白紙の状態である。市で新たな施設を建設する予定はない。

11 太陽光パネルの建設について

【意見等】

太陽光パネル建設にあたり、農振地区に規制はあるのか。

【回答】

規制があるので、農地法の転用及び農業振興地域農用地除外の所定の手続きは必要となる。

今後、国では法を改正し、市町村で太陽光建設の促進エリアを決めるよう示される予定となっている。まだ明確に指示はされていないが、実際にどこをエリアに指定するか市町村が判断するのは困難だと思っている。

12 エネルギー問題と環境問題について

【意見等】

太陽光のソーラーパネルを農用地に設置するうえで、農作物を作る部分とパネル部分にし、シェアリングなども行われている。

炭素を減らすため、ソーラーでエネルギーを自給することが必要。笠間市が全国に発信する覚悟で取り組んでほしい。

【回答】

エネルギー問題と環境問題は抱き合わせで大きな課題となる。市では、2030年に向けた脱炭素社会実現ロードマップを作成している。環境問題に向けて市でできることを検討していく。